

令和3年度社会福祉法人神和会事業報告

1. 事業経過

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、運営を継続することと稼働状況の改善を目指して新年度の運営を開始した。序盤は改善の兆しが見えたものの夏以降新型コロナウイルス感染症の流行が始まったところから稼働率の停滞がみられ影響は年度末まで続いた。年間通しての稼働状況は例年であれば一定の数値に達しているが、一昨年の稼働の低下を穴埋めするには至っておらず、当面は収支の不安定な状況が続くと思われる。このため、設備資金借入金の元本償還猶予を申請し現預金の減に備えるとともに次年度に運転資金を市中銀行より借り入れることを検討している。

○大野の郷職員数（デイサービス・ショートステイ、居宅含）

	正職員	パート職員	備考
施設長	※1		兼務
生活相談員	※2		兼務
看護師	4	2	
理学療法士	0		
介護支援専門員	※4		兼務 居宅3名
介護職員	42	3	
管理栄養士	1		
事務職員	2		
その他		8	

令和4年3月末現在

○和の家職員数

	正職員	パート職員	備考
施設長	※1		兼務
生活相談員	※1		兼務
看護師	※1		兼務
理学療法士	0		
介護支援専門員	※1		兼務
介護職員	15	1	
管理栄養士	※1		兼務
事務職員	※2		兼務

令和4年3月末現在

○理事会・評議員会等の報告

<p>第1回定時理事会 令和3年5月31日 午後1時30分～ 場所：大野の郷会議室</p>	<p>第1号議案 令和2年度社会福祉法人神和会事業報告について 第2号議案 令和2年度特別養護老人ホーム（短期入所含む）事業報告について 第3号議案 令和2年度大野の郷デイサービス事業報告について 第4号議案 令和2年度障がい者福祉サービス事業報告について 第5号議案 令和2年度居宅介護支援事業所事業報告について 第6号議案 令和2年度社会福祉法人神和会一般会計収支決算報告について 第7号議案 次期役員の推薦について 第8号議案 評議員会の招集について 第9号議案 評議員の任期満了に伴う次期評議員の推薦について 第10号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 第11号議案 次期評議員選任・解任委員の選任について</p>	
--	---	--

<p>第1回評議員会 令和3年6月22日 午後1時30分～</p> <p>場所：大野の郷会議室</p>	<p>第1号議案 次期役員の選任について</p> <p>認定第1号 令和2年度社会福祉法人神和会 事業報告について</p> <p>認定第2号 令和2年度特別養護老人ホーム (短期入所含む) 事業報告につ いて</p> <p>認定第3号 令和2年度大野の郷デイサービ ス事業報告について</p> <p>認定第4号 令和2年度障がい者福祉サービ ス事業報告について</p> <p>認定第5号 令和2年度居宅介護支援事業所 事業報告について</p> <p>認定第6号 令和2年度社会福祉法人神和会 一般会計収支決算報告に ついて</p>	
<p>第1回臨時理事会 令和3年6月22日 午後1時30分～</p> <p>場所：大野の郷会議室</p>	<p>第1号議案 社会福祉法人神和会理事長の選 任について</p> <p>第2号議案 就業規則改定について</p>	
<p>第2回定時理事会 令和3年11月29日 午後1時30分～</p> <p>場所：大野の郷会議室</p>	<p>第1号報告 上半期事業報告について</p> <p>第1号議案 臨時評議員会の招集について</p>	

<p>第3回定時理事会 令和4年3月14日 午後1時30分～ 場所：大野の郷会議室</p>	<p>第1号議案 令和4年度社会福祉法人神和会事業計画（案）について</p> <p>第2号議案 令和4年度特別養護老人ホーム（老人短期入所含む）事業計画（案）について</p> <p>第3号議案 令和4年度老人デイサービス事業計画（案）について</p> <p>第4号議案 令和4年度障がい福祉サービス事業計画（案）について</p> <p>第5号議案 令和4年度居宅介護支援事業所事業計画（案）について</p> <p>第6号議案 令和4年度社会福祉法人神和会一般会計収支予算（案）について</p> <p>第7号議案 各事業運営規程の改正について</p> <p>第8号議案 社会福祉法人神和会給与規程の改正について</p> <p>第9号議案 社会福祉法人神和会常勤職員就業規則の改正について</p> <p>第10号議案 評議員会の招集について</p>	
<p>第2回評議員会 令和4年3月29日 午後1時30分～ 場所：大野の郷会議室</p>	<p>第1号議案 令和4年度社会福祉法人神和会事業計画（案）について</p> <p>て</p> <p>第2号議案 令和4年度特別養護老人ホーム（老人短期入所含む）事業計画（案）について</p> <p>第3号議案 令和4年度老人デイサービス事業計画（案）について</p> <p>第4号議案 令和4年度障がい福祉サービス事業計画（案）について</p> <p>第5号議案 令和4年度居宅介護支援事業所事業計画（案）について</p> <p>第6号議案 令和4年度社会福祉法人神和会一般会計収支予算（案）について</p> <p>て</p>	

令和3年度特別養護老人ホーム(短期入所事業含む)事業報告

1 事業経過

新型コロナウイルス感染症流行の長期化により、その影響を最小限に抑えながら運営も継続しなければならず、感染対策を重視するあまり計画した事業の多くを実施することができなかった。計画的に実行すれば達成できたものもあり、実施できなかった管理者の責任が厳しく問われる。達成できなかった計画は次年度に持ち越して継続する。前年度未実施計画は、BCPの策定と職員の相談窓口の設置、LIFEへの情報登録と加算算定の基礎調査が主なものとなっている。

2 運営状況

(1) 入居者・利用者の生活を支える

①科学的ケアへの取り組み

未実施となっている。加算算定に至らないまでも準備を進めるべきだった。データを根拠としたケアの推進は今後介護サービスの主流となることが予想されるため次年度に持ち越し導入から加算算定まで計画する。

②ユニットケアの充実

科学的ケア未実施ではあるが導入に際してはケアプランとの連動が不可欠なため24シートとケアプランの連動については継続して実施した。

次年度は介護データベースからのフィードバックをケアに活用できるよう努める予定である。

③感染・災害対策

感染対策はもっとも重視して取り組む課題のため継続して対策を実施している。事業所全体では新型コロナウイルス感染症陽性者が合計で5人発生したが、協力医療機関である大野診療所の支援を受けたことにより迅速に対応できたため、利用者への感染をさせずに運営を継続することができた。

災害対策においてBCP(事業継続計画)について未実施となっており、計画策定義務の期限である令和6年度末までの策定ができていない。次年度に繰り越し計画する。

④虐待防止

制度改正に即した内容に運営規定を改めた。開設時から身体拘束をはじめとした虐待防止に取り組んでおり継続しているが、制度改正に合わせた見直しを次年度改めて行う。

⑤福祉用具の導入・活用

未実施となっている。経営状況により検討する予定として立位保持のための機器の購入を検討していた。財政面に余裕が出たら検討する。

(2) 職員の育成

①研修

昨年度に引き続き研修のネット配信サービスを利用した。

未実施の計画として居宅系事業（デイサービス・ショートステイ）向けの研修と介護職以外の専門職向けの研修がある。これらの研修も配信サービスを活用したいが研修時間の確保が課題となっている。また、先進地研修を計画していたが、感染症流行のため中止した。感染症流行の状況により次年度再計画する予定。

②働きやすい職場づくり

職員が安心して働くことができるための取組として、①相談窓口の設置②パワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどの防止を計画したがいずれも未実施となっている。関連する法律の改正に合わせ就業規則を改正してはいるものの具体的取組ができていないため、次年度に繰り越し計画する。ハラスメントへの理解を深める研修も実施したい。

③人事考課

人事考課を継続して実施した。

(3) 地域交流と地域への広報活動

①家族との交流

直接対面での面会は感染対策のため実施しておらず窓越し面会と Web 面会を継続した。

ホームページ等での新型コロナウイルス感染症関連、施設活動等のお知らせを中心に情報発信を行った。広報誌である「どんぐり通信」を年2回発行した。

動画配信は不定期だがイベント等実施した際に行っている。

②地域行事への参加、施設行事の開放

感染対策のため施設の開放は行うことができなかったが鹿行地区の高等学校が共同で運営する文化祭にオンラインで参加した。短い時間ではあったが入居者が高校生と直接語り合う機会をもつことができた。

令和3年度デイサービス事業報告

1 事業経過

新型コロナウイルス感染症流行の影響を抑えつつ稼働を向上させる取り組みを年間通して行ったが、爆発的流行の中では利用を制限せざるを得ないケースもあり、施設の取り組みだけで稼働を維持することが困難なこともあった。感染症の影響を最小に抑え稼働を向上させるための取組を継続する。

(1) 利用したい施設になる

利用者・家族にとって利用しやすいよう短時間サービスの提供を実施、また通常規模のデイサービスでは設置されていない臥床浴を備えていることで高介護度の利用者を受け入れる体制とした。

外出等のレクリエーションは制限せざるをえなかったため、施設内でのレクリエーションの充実を図り調理イベントや、複数回の参加で完成させる工作物の製作等のイベントを実施した。

(2) 職員研修等

施設内研修に配信サービスを導入した。デイサービスに特化した研修実施を計画したが未実施となっている。配信サービス上のカリキュラムを活用する予定だが研修時間をより多く確保する必要があり課題となっている。

(3) 食事

生活リハビリの観点から、食事前に口腔体操を行い嚥下・咀嚼機能の維持に努めた。食事は利用者にとって大きな楽しみなので、利用者から得た食事についての意見を給食委員会へ提出し改善に努めている。

令和3年度障がい福祉サービス事業報告

1. 事業経過

障がい福祉サービス事業として通所サービス・短期入所サービスを実施している。障がい者枠の利用実績はなかったが、重度の障害はありながらも介護認定要件を満たさないケースなど、介護保険適用までのつなぎ的なサービスとして継続している。

令和3年度居宅介護支援事業 事業報告

1 事業経過

在宅での生活を可能な限り持続できるよう支援している。家族を含めた状況に応じて地域での生活を継続できるようサービス提供に努めている。

(1) 新規契約者の確保

契約者数は一定数に達してはいるものの、入所系サービスの利用や死亡により利用が終了する性質上、新規利用者を常に受け入れ続けなければならない。

鹿嶋市の中でも特に高齢化率が高い大野地区において介護保険サービス利用の入り口といえる居宅介護支援事業は重要な役割を担っている。

(2) 緊急時の対応

緊急時の対応が可能な体制を整えている。

(3) 研修の参加

かしまケアマネージャーの会に参加し同会主催の研修に派遣するが、感染症流行の影響考慮しオンラインでの研修も活用している。

(4) 認定調査・サービス支援計画作成委託

各自治体の業務委託契約及び認定調査に継続して協力する。